二中の木

学校報
第６号
H28/07/22

能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

夏休みをどんなふうに過ごそうか

～家庭の人となり、地域の人となる～

夏休みが近付いてきましたね。七月二十三日（土）～八月二十四日（水）の期間です。夏休み初日、全国フェンシング選手権大会、通信陸上大会などに本校からも出場が予定されています。各部活動も東北大会や練習会で活躍する夏休みとなりそうです。ところで・・・・・・。

詩に託して

文部科学省のホームページで、こんな素晴らしい作品を見つけました。

病気で気管切開をしているぼく
声を出してみろよ。」と言われ
たこともある　のどに入れている
チューブをみんなに見られる　で
もぼくはまわりの目を気にしない
それはお母さんがぼくをほこり
に思っているから
神奈川県　小４　小出湊太郎

テストで良い点取った時。母は
私の子じゃない！」と笑顔で言
う。テストで悪い点取った時。母
は　私の子だ！」と笑顔で言う。
言葉の意味はちがうけど　言葉の
愛は同じくらい。
山梨県　中１　小宮山乃々花

勝ってこい！」初めて言われた
父の言葉　涙で帰った　その夜に
そっと言われた　おつかれさん」
埼玉県　中３　川村恵斗

これらの作品は平成27年度　楽しい子育て全国キャンペーン」の作品募集に寄せられた作品のごく一部です。

様々な思いに支えられ

思い返してください。家族に　ありがとう。」と言ったのはいつのことですか？家族は何も言わず、皆さんの身の回りのことをしてくれたり、手伝ったりしてくれているのではありませんか？休日の対外試合での送迎、仕事でどんなに疲れていても帰宅に合わせてつくってくれる夕飯、友達や勉強のことで悩んでいる時の励まし等々。

「応援される人になって。」といつも言っていますが、応援されるだけの人では、応援への感謝の気持ちが薄らいだ人では、心から　応援が欲しい。」と思った時にはそれが得られないものです。

地域の方々も同様ではないでしょうか。感謝の気持ちは、いつも持っているのだけれど。」と思う二中生の皆さん、いったいどうすることが、地域への感謝の気持ちを表すことになるのでしょうか。

「二中若集会」から

七月二十日（水）の３・４校時に、「二中若」の中間発表集会が行われました。先導、太鼓、音頭上げ、笛、田楽、二中若踊りの６部門が互いの頑張りや次への課題を確認し合う会であり、いつも応援してくれる地域への思いを強くしようという会です。

会には、三名のゲストティーチャーをお招きしました。いつも二中若を支えてくれている方々です。体育文化後援会長 村岡秀徳さん、太鼓指導に来てくれている大髙康夫さん、住若元若頭 原田真吾さんの三名です。**(1)二中若を継続して応援してくれる訳 (2)二中若が地域ではたしている役割 (3)これからの二中若に期待すること** についてお話しいただきました。これまで知らなかった二中若の歴史、どれだけ二中若を多くの人が楽しみにしているか、地域の期待を背負っているのであれば、それぞれの部門はどんな姿を目指さなければならないのかについて考えるきっかけをくださる内容のお話でした。

今年で17回を数える「二中若」。これまでの二中若からさらに完 裏面へ

成度の高いものへと表現力を鍛えていくことを誓った集会となりました。同時に、何のために、誰のために二中若を運行しようとしているのかも確認できた集会となりました。生徒アンケートをもとに設定されたテーマは、「魅せろ二中魂　すべての人に笑顔の花を」。地域への思いを詰め込んだテーマとなりました。

七月六日（水）には、「二中若説明集会」が行われていました。その際、地域の人は、もっといろんな場面で中学生の力を借りたいと考えています。部活動で忙しい中学生にはなかなか言い出せないでいるというお話をうかがったことがあります。「それに集中して頑張るのは当然のことです。しかし、この夏休みを有意義に過ごすという意味でも、部活動がない日や時間帯に、地域の人と積極的に交流する、地域の行事に進んで参加するといった時間の使い方を考えてみてください。

家庭での時間の使い方についても考えてください。普段言えない感謝の気持ちを言葉にするのと併せて、食事の用意をしたり、買い物を手伝ったり、兄弟がいたら下の子の面倒を見たりと、家族のために時間を使う機会を持ってください。この夏休みのテーマは・・・・、

家庭の人、地域の人となる

夏休み明け、家族に頼られるという嬉しさ」や地域での新しい出会い」が、思い出として語り合えるようになるといいですね。

家族や地域の人との語らいから励ましを受けたり、自分を見つめるきっかけをもらったり、感謝されたり、アドバイスをいただいたりといった場面がたくさんあるといいですね。

人と交流することでしか生まれない多くの気付きが皆さんを成長させてくれるはずです。

心の健康も大切に

夏かぜ、熱中症、夏バテ・・・と、夏だからこそ気を付けなければならない病気や身体の健康問題があります。実は、心の健康も同じ。一年生は、無我夢中で新しい生活に慣れようとして頑張り続けてきました。ふっと、一息つけそうなこの時期。二年生は、部活の主役となったり、自分自身に「もっと先へ進まなきゃ。」とプレッシャーを掛けてしまいがちな時期。三年生は、部活から解放され目の前の日常が大きく変化し、新たな大きな目標にどう取り組んでいったらいいのかを悩む時期。一人で心の健康を取り戻せる人は数少ないと思います。そんな時こそ、人の手を借りることが大切です。

人生の先輩をお忘れなく

友達への相談で解決できればいいのですが、人生の先輩である保護者や先生方への相談で、効果的に心の疲れを癒したり悩みに良いアドバイスをもらえたりします。相談相手は、必ず担任の先生とは限りません。学年部の先生でもいいですし、かえって普段はあまり交流のない先生が相談しやすかったりすることもあります。皆さんの先を歩いてきた先輩方は、皆さんが今見ている景色を一足先に見てきたのです。きっとよいアドバイスがもらえるはずです。もちろん、保護者の方々からもよい方法がもらえるはずです。

能代第二中学校
２－５１３８
スクールカウンセラーを紹介することもできます。
皆さんの相談に、いいアドバイスが出来るように取り組みますよ。

保護者の皆様へ

夏休み中の三者面談が七月二十六日（火）～二十九日（金）に行われます。お子さんのことで普段考えていることや心配事をお聞かせください。

同時に、夏休み中のお子さんの見守りをよろしくお願いします。見つけた変化が気になったらすぐに学校にも連絡をお願いします。

なお、「こもれ陽５号」の裏面には、24時間子供ＳＯＳダイヤル」をはじめとする相談窓口が紹介されています。

思いさだめる夏

～夏休み中も『自主 不屈 友愛』で～

思い定めて頑張ろう
～二中 三つの合い言葉～
○自主　宿題には攻めの姿勢で
※守りでは気力は生まれない
○不屈　誘惑に負けない正しい目を
※行動には慎重さを欠かさず
○友愛　友と自分を粗末にせず
※思いやりが自らを育てる

～夏休み明けは～
元気な笑顔に会いたい】
○泳ぐ時は無理をしない
※水の中では
あなたの運動能力は消滅
▲生命が奪われる
○飛び出しをしない
※自転車は車輌です
ケガをさせれば償いも
▲車との衝突は死に直結

事故は一瞬にして皆さんの、時には相手の生命をも奪ってしまうことがあります。慎重さこそ真の勇気であり、思いやりですね。

【終】